

公立・公的医療機関等の具体的対応方針 の再検証について

再検証対象医療機関の具体的対応方針の再検証について

<該当病院からの報告内容>

病院名	分析領域 (※1)	見直しの 有無	病床数(※2)							再検証内容	その他特記事項	
			時期	高	急	回	慢	計	介護			
記載事項 説明	今回再検証 が必要な領域	H29.7以降 の病床数の 見直しの有 無	H29.7	H29病床機能報告(国分析時点)							<H29病床機能報告以降すでに実施した見直し> 国分析の元データであるH29病床機能報告以降実施した見直し内容を記載 <再検証後の2025年に向けた具体的対応方針> 再検証の際に国から検討を求められている下記について記載 ①地域における急性期機能や、将来の人口推移及び医療需要等の状況 ②分析領域ごとの医療機能の方向性 ③①②を踏まえた機能別の病床数の変動	
			R2.2	現状(再検証時点)								
			R7(2025) 予定	再検証後の2025年時点の予定								
能美市立 病院	救急	有	H29.7	0	99	0	40	135	<H29病床機能報告以降すでに実施した見直し> ・病床数を39床削減 ・一般病床60床のうち地域包括ケア病床を35床整備	<再検証後の2025年に向けた具体的対応方針> R2.4月から常勤 医師2名(整形外科1名、内科1名) 追加		
			R2.2	0	60	0	40	100			0	
			R7(2025) 予定	0	60	0	40	100			0	
公立 つるぎ 病院	救急	有	H29.7	0	99	26	27	152	<H29病床機能報告以降すでに実施した見直し> <再検証後の2025年に向けた具体的対応方針> ①がんの手術及び放射線治療などについて、既に、公立松任石川中央病院と機能 分担済 ②へき地医療拠点病院として引き続き白山麓の救急医療を実施 ③急性期1病棟(地域包括ケア)を回復期へ転換予定 ※診療報酬改定等を踏まえて病棟ごとの病床数は検討	・病床稼働率 90%以上(H30年 度) ・H30年度決算で は、黒字計上		
			R2.2	0	99	32	21	152			0	
			R7(2025) 予定	0	49	76	27	152			0	
KKR 北陸病院	救急	有	H29.7	0	125	0	0	125	<H29病床機能報告以降すでに実施した見直し> ・大腿骨近位部骨折の受け入れに関する地域からの要望に応えるため、受入体制 を整備 ・R2.4月開設を目指し、オンライン(遠隔)診療の準備中	・病床稼働率 90%以上(H30年 度) ・H22年度以降、 黒字計上		
			R2.2	0	125	0	0	125			0	
			R7(2025) 予定	0	83	42	0	125			0	
JCHO 金沢病院	がん 心血管疾 患 救急	有	H29.7	8	187	53	0	248	<H29病床機能報告以降すでに実施した見直し> ・高度急性期病床(HCU)8床を急性期病床(無菌治療室)に転換	・病床稼働率 80%程度(平成 30年度) ・黒字計上、直近 5年で経常収益 20%増加		
			R2.2	0	195	53	0	248			0	
			R7(2025) 予定	0	195	53	0	248			0	
河北中央 病院	救急	無	H29.7	0	60	0	0	60	<H29病床機能報告以降すでに実施した見直し> ・急性期病床60床のうち、地域包括ケア病床を17床から25床に増床	・H26.4月、病床 数を80床から60 床に削減 ・病床稼働率 84%程度		
			R2.2	0	60	0	0	60			0	
			R7(2025) 予定	0	60	0	0	60			0	
町立 宝達志水 病院	救急	有	H29.7	0	43	0	27	70	<H29病床機能報告以降すでに実施した見直し> ・急性期病床43床のうち、地域包括ケア病床を8床整備	・H29.5月の新病 院建替え時、病 床数を100床から 70床に削減 ・病床稼働率 92%程度(H30年 度)		
			R2.2	0	43	0	27	70			0	
			R7(2025) 予定	0	0	43	27	70			0	
町立 富来病院	救急	有	H29.7	0	60	0	38	98	<H29病床機能報告以降すでに実施した見直し> ・急性期病床60床のうち、地域包括ケア病床を25床整備 ・慢性期病床38床を介護医療院34床に転換	・経常収支は病 棟再編により、 R1年度から黒字 計上予定 ・病床稼働率は 病棟再編により H30年度の65% からR1年度には 85%に改善予定		
			R2.2	0	60	0	0	60			34	
			R7(2025) 予定	0	0	60	0	60			34	

※1 医療計画(H30に策定した具体的対応方針)で急性期医療を担う医療機関として位置づけられており、国の診療データ(H29病床機能報告)分析により、「実績が特に少ない」または「類似かつ近接の医療機関がある」とされた領域(実績がないものを除く)

※2 1つの病棟に急性期を担う病床と回復期を担う病床が混在(病棟の一部で地域包括ケア病床を算定)する場合、病床機能報告制度にあわせ、病棟単位で急性期または回復期に割り振っている

<医療圏保健医療計画推進協議会における協議結果>

該当病院における具体的対応方針の再検証の結果に対しては、特に異論はなかった。

但し、能登中部・北部医療圏では、病床稼働率が低いままの病棟については、その病床数が必要なのか、医療機能の見直しは必要なのか、今後も調整会議で議論していく必要がある旨の意見があった。→今後とも上記7病院に限らず、必要に応じて見直しをする必要あり

→再検証対象医療機関においては上記のとおり対応することとしている。ただし、今後も医療環境の変化に伴い、必要に応じて見直しを検討